インドネシア・西カリマンタンにおける森林破壊：アブラヤシ農園と産業植林

aid environment

About us

エイドエンバイロメントは持続可能性調査・戦略提言をおこなう非営利の組織です。

データ・最先端技術・システム思考・グランドレベルの調査チームを駆使して業界変革を達成します。

森林破壊をともなわないサプライチェーン

持続可能な取引と生産

- リアルタイム監視：グローバルコモディティサプライチェーンにおける森林破壊と森林火災のリアルタイム監視をおこない、その結果を社会・環境・政治のリスク分析と組み合わせている。
- 森林破壊調査：政策や規制のサプライチェーンにおよぼす影響といった森林破壊に関連したテーマを調査し、分析する。トレーサビリティ、コモディティ生産があたえる社会影響、NDPE方針*採用もそうした調査・分析にふくまれる。
- 協働：森林にリスクをもたらすコモディティセクターにおいて透明性・啓発・革新を向上させるプロジェクトで、NGO、調査機関、金融部門と協働をおこなっている。
- 持続可能性リスク分析：企業がかかえる森林破壊関連のビジネスと金融のリスクに注目し、投資家に対し持続可能性リスク分析をおこなっている。

*NDPE: No Deforestation, No Peat, No Exploitation（森林破壊禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止）

アブラヤシ農園と産業植林のコンセッション監視

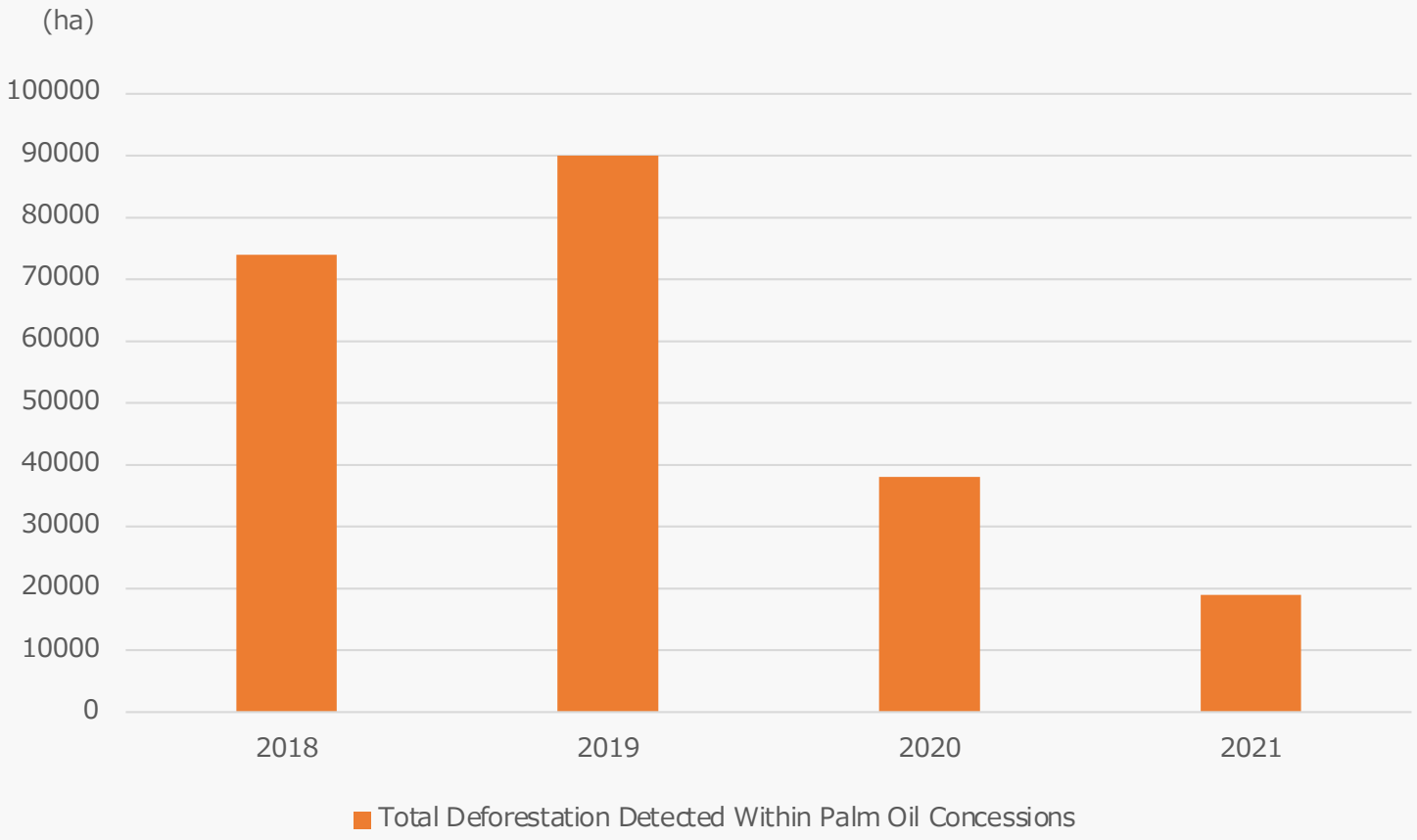
- エイドエンバイロメントのアブラヤシ農園に関するデータベースはもっとも広範なデータを扱っている。526の企業グループの農園をマッピング、モニターしている。
- インドネシアでは、3,587のコンセッション、総面積にして1,571万ヘクタール強をマッピング、モニターしている。
- マレーシアでは、3,424のコンセッション、総面積にして471万ヘクタール弱をマッピング、モニターしている。
- 産業植林コンセションのデータベースでは1,130万ヘクタールをカバーし、299のコンセッション、106の企業グループに分類している。

西カリマンマンタン州

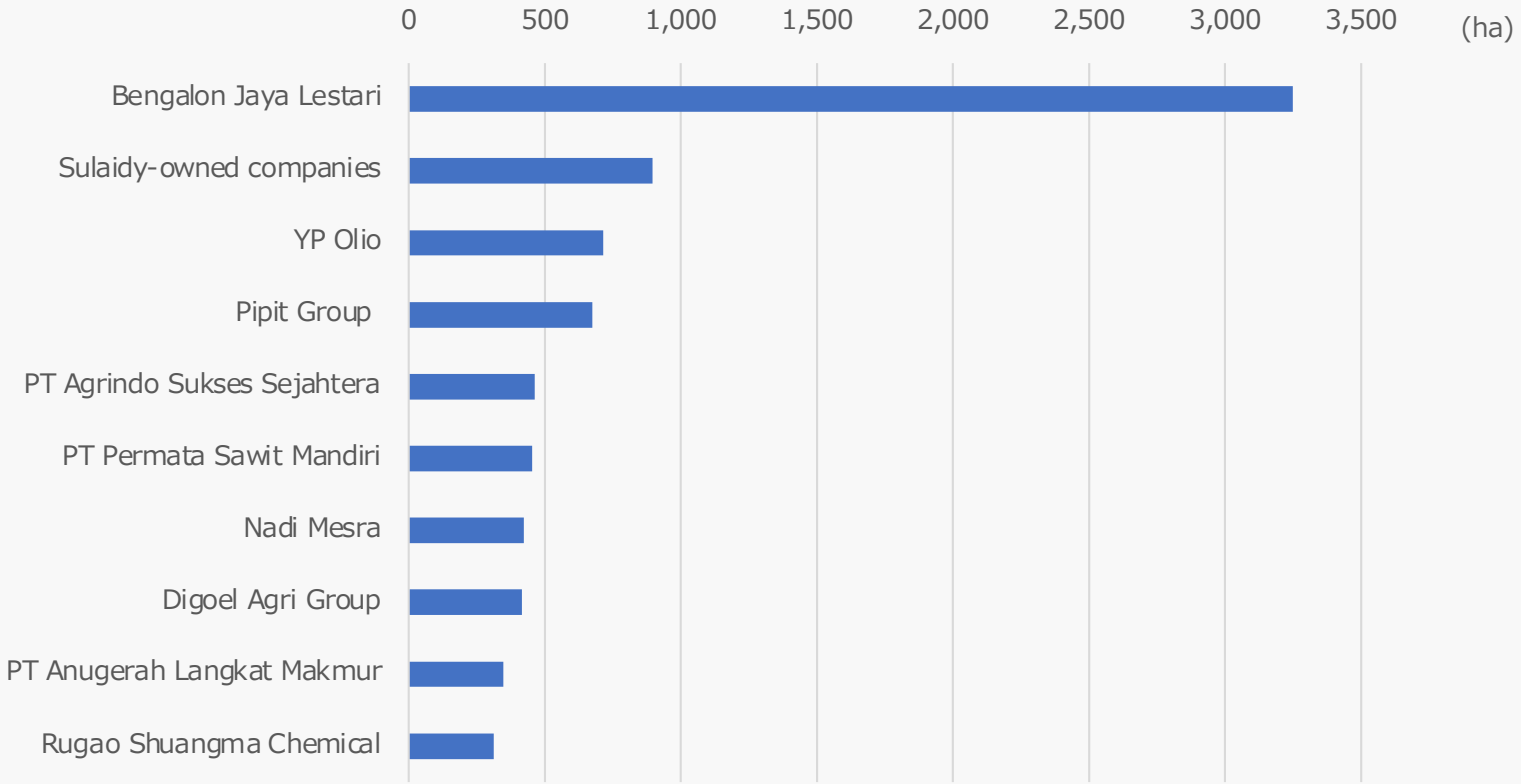
- 西カリマンマンタン州は、ボルネオ島のインドネシア領にあたるカリマンタンを構成する五つの州の一つ。
- 州面積は1,473万ヘクタール。
- 2市、12県が置かれている。
- 同州には346のアブラヤシ農園のコンセッションが存在し、総面積は346万ヘクタール強。
- 同州には49の産業植林のコンセッションが存在し、総面積は186万ヘクタール。

アブラヤシ農園セクター

アブラヤシ農園コンセッション内の森林破壊 (2018-2021)



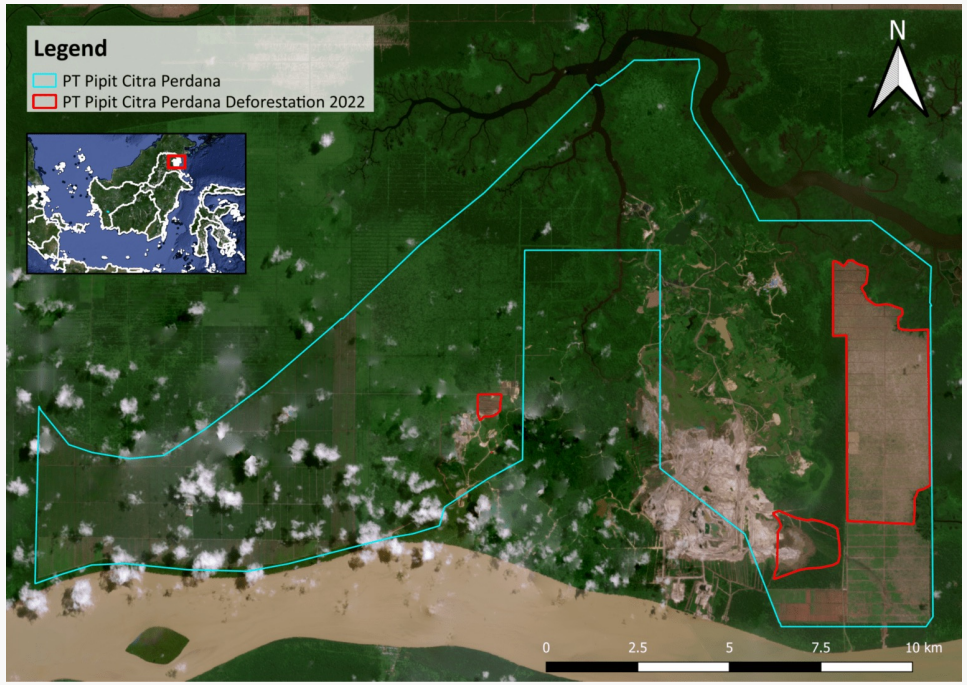
森林破壊企業トップ10 (2021年)

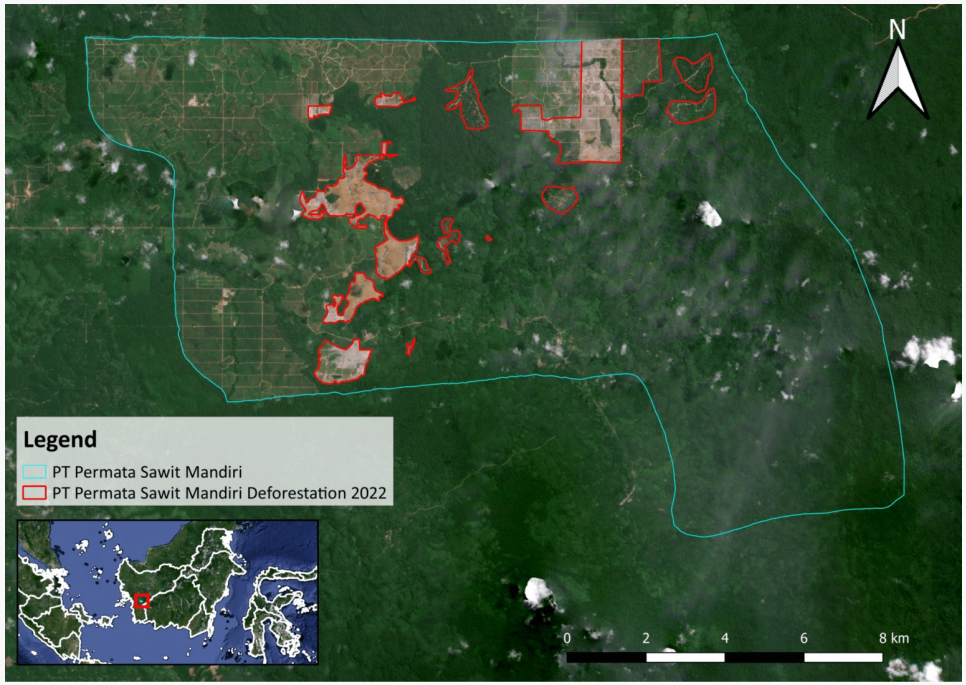


森林破壊企業トップ10 (2022年)

Concession	Owner	Location	Total deforestation (ha)
PT Pipit Citra Perdana	Pipit Group	Nunukan, West Kalimantan	1,600
PT Usaha Sawit Unggul	Jalan Abesin Limited	Mandailing Natal, North Sumatra	1,520
PT Permata Sawit Mandiri	Ikhsanudin	Ketapang, West Kalimantan	1,340
PT Wana Jaya Abadi	Bengalon Jaya Lestari	Nunukan, North Kalimantan	695
PT Inti Kebun Sawit	Kayu Lapis Indonesia	Segun, West Papua	663

衛星解析から見た森林破壊





インドネシアのアブラヤシ農園開発による森林破壊はなぜ、減ったのか?

- NDPE（森林破壊禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止）方針の採用
- 政府による規制：新規アブラヤシ農園開発許可の一時凍結（モラトリアム）、森林・泥炭地に関わるモラトリアム、泥炭地の保全規制
- 不安定なパーム油価格
- アブラヤシ農園の開発にともなう森林伐採がすでに限界
- コロナウイルス感染症
- ラニーニャ現象による降水量の増加

今後、森林破壊は増えていくのか?

- インドネシアのオムニバス法（雇用創出法）の制定・施行により、投資が促され、環境のセーフガードが緩和される。
- 昨年、アブラヤシ農園のモラトリアムが失効した結果、新規農園の許可が発行される可能性
- パーム油価格の上昇
- 2022年1月に2,000を超える森林・鉱業セクターの許可が取り消された。
- 鉱山開発の法律改定、生産性の高い農業を実現するためのフードエステートプログラム、産業植林セクターの終わらない森林破壊といった事態が要因となって、環境保護の機運が低下している。

日本のパーム油市場

- FMCG（日用消費財）を扱っている企業は、大量のパーム油・パーム油製品を購入している。
- 花王の場合、原料調達の11～20パーセントをパーム油・パーム油製品に充てている。
- カルビー、森永乳業、ライオンは1～5パーセントをパーム油に充てている。
- 味の素グループなどのその他FMCGメーカーがパーム油に充てているのは1パーセント以下。
- パーム油製品を輸入している日本企業のうち森林破壊ゼロを公表しているのはほんの一握りにすぎない — 日清食品、日清オイリオ、花王、伊藤忠商事、不二製油。
- こうした企業はまた、パーム油のサプライヤーについても情報開示を進めている。

日本向けインドネシア産パーム油のおもなサプライヤー (2019-2020)

Exporter group	Palm oil exports (MT)	Palm oil export share (%)	NDPE policy?
Royal Golden Eagle	314,886	60%	Yes, but recent serious non-compliance issues
Musim Mas	172,344	33%	Yes
Energi Unggul Persada (KPN Corp)	10,800	2%	Yes
New Energy Development Dumai (New Energy Development Co.)	10,450	2%	No
Wilmar International	8,589	2%	Yes
Tunas Baru Lampung	2,880	0.6%	No
Salim Group	2,001	0.4%	Yes, but falls short on implementation
Mahkota Group	150	<0.1%	Yes
Other	1	<0.1%	-
Grand total	522,100	100%	

Tunas Baru Lampung社による森林破壊

パーム油輸入の日本企業トップ10 (2019-2020)

Japanese Importers – Exporter groups	2019 Palm oil imports (MT)	2020 Palm oil imports (MT)	NDPE policy of importers
Mitsui & Co.	**86,723**	**61,275**	No, target date for 100% sourcing of sustainable certified palm oil is 2030
Musim Mas	55,153	38,998	
Royal Golden Eagle (Asian Agri/Apical)	30,769	22,277	
Wilmar International	799	-	
Sojitz Building Material Co.	**54,091**	**62,049**	No
Royal Golden Eagle (Asian Agri/Apical)	54,091	62,049	
Mitsubishi Corporation	**48,317**	**55,142**	Yes, but weak policy. Aim for 100% sustainably sourced palm oil by 2030
Mahkota Group	-	150	
Royal Golden Eagle (Asian Agri/Apical)	48,317	54,992	
ITOCHU Corporation	**27,701**	**34,737**	Yes. Aim for 100% sustainably sourced palm oil by 2025
Musim Mas	19,242	21,098	
Royal Golden Eagle (Asian Agri/Apical)	8,460	9,549	
Wilmar	-	4,089	
Mitsui and Co. (TKPMI section)	**-**	**55,330**	No. See above
Musim Mas	-	36,551	
Royal Golden Eagle (Asian Agri/Apical)	-	18,780	
Kamisu Power Plant LLC	**1,300**	**16,500**	No
Energi Unggul Persada	-	10,800	
Musim Mas	1,300		
Salim Group	-	2,000	
Wilmar	-	3,700	
Inabata & Co. (Sumitomo Chemical)	**10,450**	**-**	No
New Energy Development Dumai	10,450	-	
8 other importers	**3,381**	**5,104**	
Grand total	**231,963**	**290,137**	

産業植林セクター

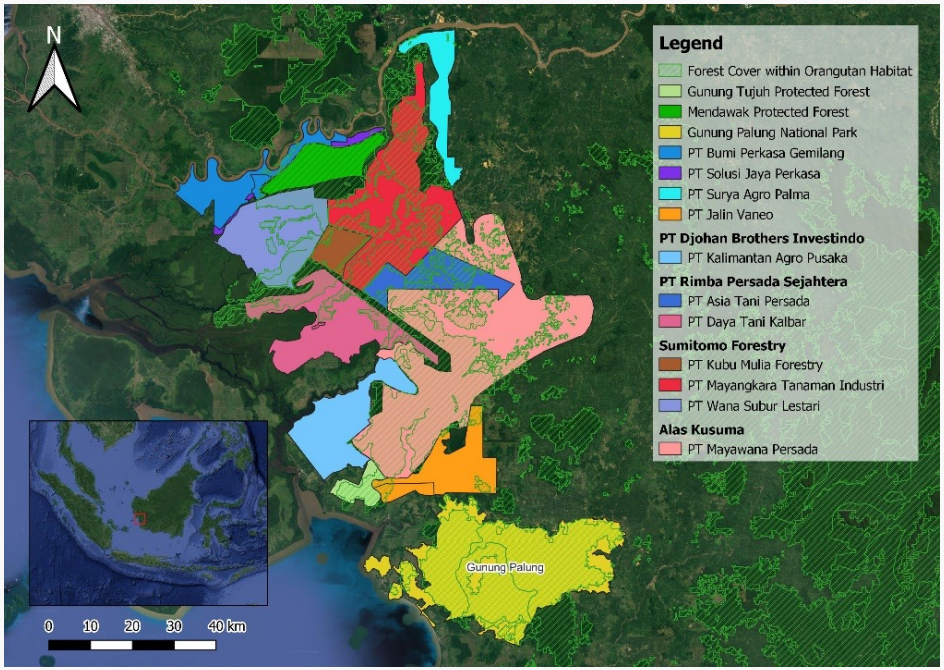
産業植林セクターにおける森林破壊

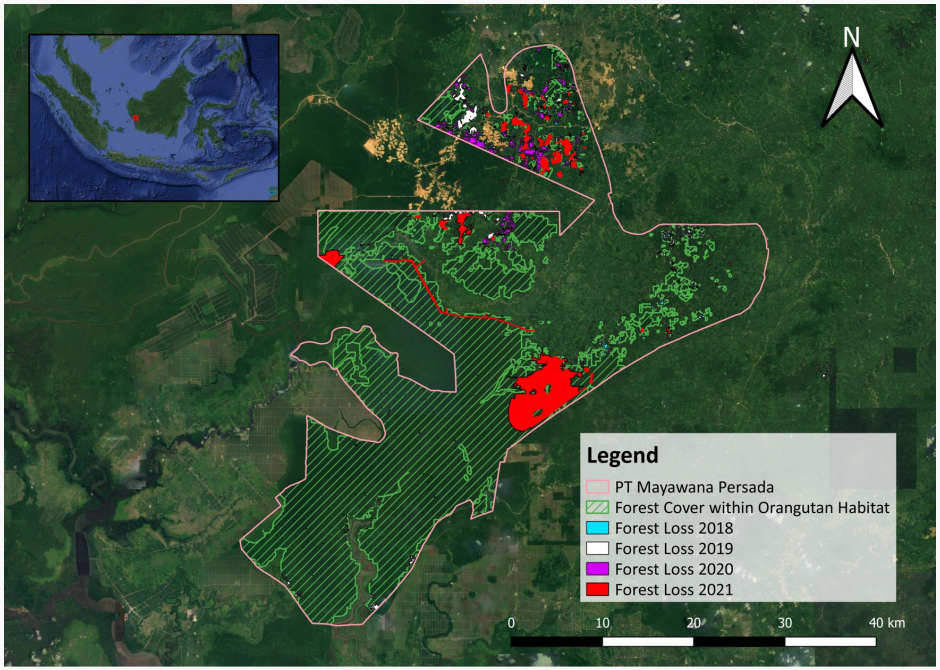
- インドネシアの産業植林セクターはアブラヤシに次ぐ二番目に大きなプランテーション部門。
- インドネシアの産業植林四社は2021年に合わせて 11,000ヘクタールにおよぶ森林破壊をおこなった — Kusuma（アラス・クスマ）, Nusantara Fiber, Moorim Group, and PT Hutan Produksi Lestari
- 2020年には五社が13,000ヘクタールを破壊した。
- 2016年～2021年5月にかけて、四社がパプアでの産業植林造成のために7,000ヘクタールを破壊した。
- インドネシアの大手21社のうちNDPE方針に近い持続可能性コミットメントを公表しているのは、シナール・マス、ムシ・フータン・ペルサダ（丸紅）、ロイヤル・ゴールデン・イーグル（RGE）のみ。

大手産業植林企業による森林破壊 (2022)

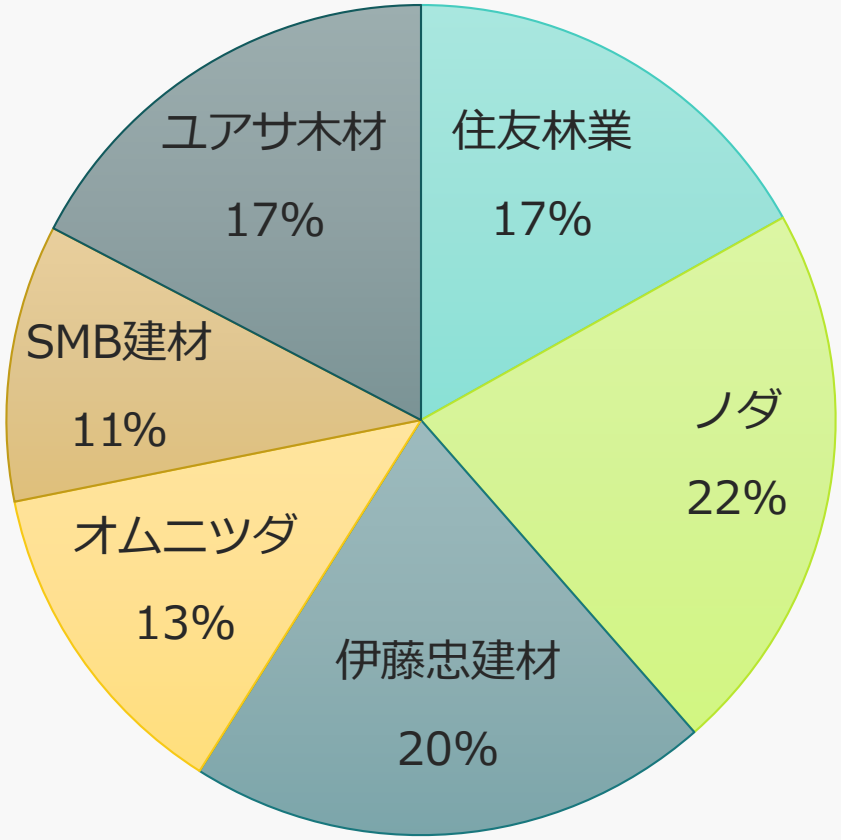
Concession	Owner	Location	Total deforestation (ha)
PT Mayawana Persada	Alas Kusuma	Kubu Raya, West Kalimantan	5,200
PT Industrial Forest Plantation	Nusantara Fiber	Kapuas, Central Kalimantan	2,300
PT Adindo Hutan Lestari	PT Adindo Hutan Lestari	Nunukan, North Kalimantan	1,340
PT Borneo Utara Lestari	PT Tjipta Setaji Abadi	Nunukan, North Kalimantan	400
PT Bukit Raya Murdisa	PT Bintang Utama Lestari	Dharmasraya, West Sumatra	390

マヤワナ・ペルサダ社（アラス・クスマ）による森林破壊





アラス・クスマグループから輸入している日本企業



アラス・クスマのサプライチェーンにおけるプレゼンス

- 企業はしばしば、かれらが購入しているアラス・クスマ材は施業もしくはコンセションがFSC認証を受けていると述べて、購入を正当化している。
- しかし、森林破壊ゼロ方針は、企業グループ全体で適用されてこそはじめて有効である。
- アラス・クスマは企業グループ全体に対して責任を負っている。したがって、企業がアラス・クスマから木材製品を購入しているという場合、ひとつ、あるいは、ふたつのコンセッション、もしくは特有のコンセッションに限らず、アラス・クスマがおこなっているすべての行為について見なければならない。
- アラス・クスマは数千ヘクタールの森林破壊をおこなっており、決して持続可能なサプライヤーではない。

インドネシア産合板輸入の日本企業トップ5 (2018-2020)

Japanese importer	Import volume (MT)	Market share (%)	Certification	Group NDPE policy
Sumitomo Forestry	233,953	27%	FSC	No
Sojitz Building Materials	120,285	14%	FSC and PEFC	No
ITOCHU Kenzai	110,378	13%	FSC and PEFC	Yes, for timber, rubber and palm
SMB Kenzai	93,694	11%	FSC and PEFC	No
Daiken Corporation	56,350	7%	FSC and PEFC	No
Japan Kenzai	50,586	6%	FSC and PEFC	No
Total	**665,246**	**78%**	-	-

Source: Compiled by Chain Reaction Research, based on trade data, corporate websites, FSC and PEFC websites

Aidenvironment Europe
Barentszplein 7
1013 NJ Amsterdam
The Netherlands
T: +31 (0)20 686 81 11
M: info@aidenvironment.org

Aidenvironment Asia
Noble House, Mega Kuningan,
29th fl. No. 2,
Jl. Dr.Ide Anak Agung Gde Agung
Kav.
E 4.2 Jakarta, JK 12950, Indonesia
M: info@aidenvironment.org

Aidenvironment East-Africa
Plot 99 Luthuli Avenue
Kampala
Uganda
T: +256 (0)393 20 88 17
M:eastafrica@aidenvironment.org